

「海津警察署長 講話」

令和4年4月27日
岐阜県立海津明誠高等学校



生徒感想文一部抜粋

署長さんの話を聞いて、改めて大麻などの危険薬物は怖いものであると感じました。一度軽い気持ちで始めたら、もうそこから抜け出せないほどの高い依存性があったり、薬物欲しさに窃盗や他人をだますなど、良いことなど何も無いと思いました。自分自身が薬物によって人生がめちゃくちゃになるのもダメだけど、それ以上に家族や友達などの周りの人のことを傷つけたりすることはもっとダメなことだと思うので、家族や友達、自分自身のためにも、絶対薬物には手を出さないようにしようと思い改めて感じる事ができました。また、SNSでの情報の取り扱いでは、一歩間違えると犯罪になったり、加害者にも被害者にもなりえるので、今一度気を付けて使っていきたいと思います。 2年生女子

毎年、薬物についての講話を聞けるので、どれほど危険なものかがどんどん分かってきます。学校の貴重な時間で学ばせていただいているのにも関わらず、世の中では薬物を使用する人が増えているのが悲しいです。人から誘われたら、断るだけでなく、「危険だからやめなよ」と言えるまでの強い意志でありたいです。間違っただけで情報を信じ、人生を台無しにしないように、今日改めて得られた知識のもと、生活していきたいです。他にも今ではSNSでのやり取りから発展していくことが増えています。現代の若者にとって、SNSはとても身近で毎日のように利用するものです。そんなに身近に危険が潜んでいることを自覚し、注意していきたいです。今年度も貴重な講話をしていただき、ありがとうございました。 3年生女子

4月27日、小森琢海津警察署長にお越しいただき、「薬物乱用防止について」という演題で、3年生が各教室でオンライン、1・2年生が体育館で対面形式にて講話を実施しました。

小森署長から薬物乱用防止に加え、SNSに関する被害について、実際にあった事例を挙げて説明していただきました。生徒たちは薬物の恐ろしさやSNSに関する被害の実態を把握し、その被害に遭わない知識を高めると共に、生徒自身が自分の身を守ったり、モラルやマナーを身につけたりしなければならぬと再確認できました。

署長さんの話を聞いて、大麻（薬物乱用）はどれだけ危険かを改めて知ることができました。自分だけでなく、周りの人にも迷惑をかけることになるし、身体に害を及ぼすので絶対に使用しないし、もし自分の知り合いで薬物をしている人がいて、誘われたとしても断るようにしていきます。

また、SNS上でのトラブルはずっと残るし、間違っただけでSNSの使い方をしたら、自分自身を傷つけることになるので、今一度SNSの使い方を注意し、今日の話であったことが自分に起きないように気を付けていきます。 2年生女子

前からずっと薬物やネットの怖さを知っていたけど、自分にはあまり関係ないやという気持ちも少しありました。今回の講話で薬物によって精神や体を隅々まで壊され、最悪死に至るということを改めて確認できました。また、大麻の断り方や見極め方などといった、騙されないことを学ぶことができ、万が一自分が薬物を勧められた時は、冷静に対処したいと思いました。そして、ネットでも絶対に他の人をいじめることがあってはならないので、みんなのことを尊重し、ネットでも悪口を書き込まないということを意識して生活して生きたと思います。 1年生男子

今回お話を聞いて、改めて薬物の恐ろしさがわかりました。誘われても、話に乗らない、断る力が大切であると思いました。困ったときは、周りの大人や警察に相談して、薬物と関わっていかないようにしていきたいです。

SNSでは、顔が見えないからといって誹謗中傷をしたり、いたずら目的で書き込んだりするのは良くないなと思いました。また、LINEなどの友達との会話でも、誤解を生まないか、相手を傷つけることを言っていないか確認してから送信をしたいです。

薬物やSNSだけでなく、自分じゃなくても周りに困っている人がいたら相談に乗りたいと思いました。 1年生女子